

代表質問

自民

土屋 忠和 議員



①白里地区に夢の設計図を描こう！
②自治体の在り方③選ばれるまちへ

私の質問は、白里地区に特化し、まだ見ぬ未来の不安材料を少しでもかき集め、白里地区の夢の設計図を市長、副市長、執行部のみなさんと描いてみたい！と考えた次第です。

問 白里地区小中学校の編成計画について、現段階での教育委員会管理課の考えをお示し下さい。

答 白里小と白里中については現時点では小中一貫教育を導入し、教育環境の向上を図る方法が適切である。

問 白里海岸公園内の国へ返却した土地について、土地の管理者である財務省関東財務局に対し、市を通じて国有地の売却、販売の斡旋を促して欲しい。市が財務局に催促する行為は、白里の振興にいち早く繋がります。この働きかけについて執行部のご意見を伺います。

答 白里海岸公園の一部を国に返却した国有地の売却手続きの進捗状況について、現在、地籍調査がおおむね完了した土地の地下埋設物調査や地方公共団体へ取得要望等の有無を確認し売却処分が必要となる事務手続きを進めている段階であります。地域の実情をお伝えしながら、早期に、売却して頂けるよう働きかけてまいります。

問 南今泉南部緑地広場の公園化について、子どもの遊び場の不完全な事情を考慮し、ブランコ等の遊具を備え付けた住民に優しい公園作りの措置を講じて欲しいと要望致します。

では、執行部のご意見を伺います。

答 白里海岸の入口に位置し、来遊客の方々も利用しやすい立地であり、子どもが元気に遊べる遊具や海風を感じながら、休憩できるベンチ等、多世代が、憩える公園整備について具体的な検討を進めてまいります。

問 白里海岸四季折々のイベント開催について、本市の主要な観光資源である海岸を魅力的に全国に発信していく為に、これから新たなイベントを計画されてはどうか、執行部のお考えを伺います。

答 市の観光ビジョンに基づき、夏の海水浴だけに依存しない通年型観光施策の推進に向けて取り組むこととしております。民間機関や関係機関と連携し新たな観光施策への展開が、図れるよう努めてまいります。

問 四木堀川橋付近の浸水被害と低地リスクについて、既存護岸の修復と新規コンクリート製のかさ上げ整備事業を再度、要望致します。市は県に対し、どう対応していくのか、ご意見を伺います。

答 既存護岸の修復の要望につきましては、堀川橋から渡芝橋までの区間の復旧に向けた護岸補修設計を実施しております。今後は護岸脇の陥没が生じないよう対策工事を順次進めていく予定と伺っております。

問 白里地区出先機関の新設について、年間を通じて多くの人が白里海岸の路線を通過し、関心を持たずにスルーしている現状が、あります。最新な人の動き、新たな課題を見つけて出す為に自由に対応できる出先機関が必要だと思いませんか？市長の見解をお聞かせ下さい。

市長 市の魅力や市の施策をより一層積極的にアピールする上で、有効な方策であると考えておりますので、研究課題として調査をしてまいります。

その他、左記3質問も発言済みです。

○白里海岸オブジェシンボルの提言

○白里地区街路灯の点灯について

○民泊ビジネスの促進と条例案作り

関連質問

高野 祐二 議員



問 自治会・区長会の現状と課題について伺います。

答 市内には、120団体あります。加入率は64%から62%へと減少傾向にあり、担い手不足や高齢化が大きな課題であると認識しており、各区・自治会でも苦慮していると考えています。

○地区ごとの実態を継続的に把握し、運営が困難な地域への早期支援体制の構築を要望します。

問 自治会は地域の安心・安全の基盤であり、地域社会の最も身近な単位として機能しております。転入者に対し、自治会・区長会の役割や意義をよりわかりやすく伝える考えはあるのか。また、防災や見守りといった分野と連携し、自治会加入が地域の安心につながることを市として積極的に発信していくか伺います。

答 転入・転居時に自治会加入案内を配布し、活動内容の周知を行っています。また広報やホームページでも情報発信に努めています。今後は、地域の実情に応じて担い手の負担軽減や参加しやすい環境づくりを進め、持続可能な地域コミュニティの形成に努めてまいりたいと考えています。

問 加入世帯数が少ない区・自治会の将来像について伺います。

答 市内には120の区・自治会があり、そのうち50世帯以下の団体が44あります。現時点で存続に関する相談はありませんが、今後は加入者減少や高齢化により運営負担の増加が懸念されます。そのため、近隣との連携や共同運営などの選択肢が考えられます。市としては自主性を尊重しつつ、統合や連携に関する相談には地域の意向を踏まえ、助言や情報提供など柔軟に対応してまいります。

関連質問

斎藤 完育 議員



問 インターハイの概要についてお聞かせ願います。

答 昭和38年度新潟大会から統合して誕生した大会で、高校生最大のスポーツの祭典となっております。教育活動の一環として、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することとしております。

問 大会までのスケジュールや施設整備についてお聞かせ願います。

答 令和8年5月をめどに実行委員会を設立する予定であります。大綱白里アリーナの照明設備のLED化、床の修繕、臨時駐車場の舗装補修などを予定しており、当初予算に必要な経費を計上させて頂いたところでございます。

問 庁舎内の体制と実行委員会の役割について伺います。

答 生涯学習課を2つの班に改編した上で、組織体制を強化し、円滑な実施に総合的に対応します。5つの専門委員会を設置することなどが、現時点で想定される主な役割であります。

問 市長へ本大会を通じたレガシーの創出及び本市としての大会への思いについて伺います。

市長 豊かな人間性や社会性を育む場として大きな教育的効果をもたらすものと認識しております。本市での開催に当たり、児童・生徒にとってもスポーツの魅力や存分に味わう機会となり、寄与するものと考えております。また、本市の魅力や全国に向けてPRする絶好の機会でもあり、観光や地場産業などの発展にもつながるものと期待をしております。おもてなしの心を持って温かく迎え、スポーツを通じたまちづくりの一層の推進を図ってまいります。

インターハイを通じた子どもの成長と市の価値向上を図る大会と期待します。

個人質問

小中川遊歩道整備について

岡田 憲一 議員



問 私の本日の質問は、小中川遊歩道、この一点だけあります。小中川と言っても総延長は相当ありますが、私が質問いたしますのは南横川から長国の方までの堤防です。ね。堤防の上の部分が遊歩道として整備されているが、ある時から南横川の方から北吉田の豊福橋までは今でも小さい車も走られるし、散歩道として非常にいいところなんですね。ところが豊福橋から長国の方に向かっていゆる遊歩道になっていたところが、現在人間が入っていかれない状況になっている。前は車も入っていかれたし人間ももちろんいい散歩コースなんですね。南横川の方から長国の方迄は、長くもなく、短くもない、ちょうどいい距離なんですね。それで多くの人達が散歩したい。それで多くの人達が散歩したい。それで多くの人達が散歩したい。それで多くの人達が散歩したい。

答 山武土木事務所を確認しましたところ現段階において、豊福橋から長国地区へ渡る橋、境橋と申しますが、その区間の堤防を遊歩道として舗装などの整備をする計画は無いとのことでした。尚、堤防の除草を含めました維持管理については小中川に限らず所管している河川の中で水の流れを阻害する危険性のある河川を優先的に実施しており、当該区間については順次進めていく中で、除草等の検討が必要になってくる区間とのことでした。市としては堤防が通行可能となるような対策を千葉県に要望していきます。

問 私は遊歩道を舗装してきれいにしてくれとか、そういう大それたことを言っているのではないですよ。以前は車も通れたし人間も遊歩道として、いっぱい利用していた。そういうふうな改善していただければと言っているだけなんですね。県はそのあたりをどう言っていますか。

答 千葉県は除草等の検討が必要になつてくる区間と申しております。認識していると考えられます。市としても、堤防が通行可能となるような対策を千葉県に要望していきます。

問 そういう県の姿勢が確認できれば良しとするので私の質問終わりです。

